

めざせ！B1グランプリ全国大会 亀山みそ焼きうどん



4月16日(土)に、三重県ご当地グルメ大会が亀山市で開催されました。この大会は地域のグルメでまちおこしをしている市民グループが一同に集まって来訪者に食を楽しんでもらうと共に、余興として投票して順位をつけるイベントで、今回で第4回になります。B級グルメブームもあってか参加団体はだんだん増え、今回は熊野市から桑名市まで8団体が参加しました。

各団体が用意した約400食は、たちまち完売し、各団体の投票箱に集まった割り箸の重さを計った結果、亀山みそ焼きうどんが2位を大きく引き離し優勝しました。表彰台にはシンボルキャラクターかめみちゃんの着ぐるみが登り一緒にお祝いしました。

賞金は、同時に開催された100円商店街で集まった募金と合わせて総計13万円余りを東日本大震災への義援金としました。

亀山みそ焼きうどんへのメディアの関心も大きく、各テレビ局からの取材も連続しています。

最近、「欽ちゃんのニッポン元気化計画」、「秘密のケンミンショー」で紹介されるなど、全国に知れ渡るようになりました。

地域のイベントで、亀山みそ焼きうどんの出店も毎月あり、9月24日、25日には豊川市での中日本支部B1グランプリ大会、更に11月12-13日には姫路での全国B1グランプリの出場に向け準備中です。

(亀山みそ焼きうどん本舗 伊藤)

大規模な福祉の祭典へ！ めざそうバリフタウン全国大会

この秋、三重県で初めて開催される車椅子レクダンス全国大会は亀山市西野公園が会場です。全国から集う数百人規模の大イベントに向け「めざそうバリフタウン実行委員会」では着々と準備を進めています。この大会を機に亀山市をハード面だけでなく心のバリアフリーのまちとして全国に発信しようと市内外の福祉のグループ・団体が結集したイベントをめざしています。鈴鹿市の社会福祉法人きれい会が中心になって毎年開催されてきた「てくてくマラソン」も今年は西野公園を会場に同時開催と決まりました。大会後に伊勢神宮へ車椅子で参拝される方も多いことから皇學館大学の学生ボランティアも多数応援に入ってくれます。

(めざそうバリフタウン全国大会実行委員会 渡邊 佐智男)



11月11日(金)	午前	会場準備
	午後	車椅子レクダンス復習会、交流会
11月12日(土)	午前	てくてくマラソン、関宿探訪
	午後	車椅子レクダンス全国大会、懇親会
11月13日(日)		伊勢神宮参拝



市民交流の日 毎月21日19:30～21:30 ところ:市民協働センター「みらい」

4月のテーマ:『震災避難者の支援について私たちはなにができるか』

- ・被災者には住宅よりもまずは仕事がないといけない。
- ・まず企業が採用枠を設ける。住宅は市が用意するという連携が必要。
- ・まず生活の安定が必要である。
- ・公営住宅入所募集に関するキャッチフレーズを変更する。たとえば「6ヶ月間伊勢の国亀山で暮らしてみませんか」
- ・東北地方出身者(東日本地域)が集まってグループをつくり、交流する。
- ・被災者も、たとえ短い間であっても市民活動に参加してもらおう。
- ・ミクシィ(mixi)で亀山市のコミュニティがあるので情報提供ができる。
- ・亀山市総合保健福祉センター「あいあい」の母親同士の情報交換のスペースがあるので活用してもらおう。
- ・経済活動をする。お金を動かすことが必要である。復興のためには必ずお金を動かすことが必要となる。
- ・震災避難者の支援は、東南海地震が来た時の準備でもある。お互いに助けていただく。
- ・被災者が亀山市に来る度に、「ねこの館」の100円コーヒーで歓迎会を開く。
- ・市民協働センター「みらい」のパソコンを使って情報を収集してもらえばいい。
- ・市民協働センター「みらい」に出入りすることによって、多くの市民団体とも出会えるチャンスができる。
- ・被災者が「きらめき21」に参加してもらおうことで、心のケアができる。亀山市の紹介もできる。
- ・避難している人の年齢層によって、全然扱い方が違ってくると思う。
- ・つくば市が実施した放射能検査には怒りを感じる。
- ・被災人口が多すぎる。雲仙普賢岳の被害の場合は、人口が少なかったので何とかなかった。
- ・自分が被災者であったら、まず三重県で仕事があるのかということを考える。仕事がないなら避難してこない。
- ・被災者は、もう海の近くはこりごりだと思いが、しかし三重県にくるのが。
- ・住宅が無料で借りられるという魅力はある。また、亀山市は海が近くないという魅力もある。
- ・最低限の条件があった上での市民サポートである。まずは基盤がないとサポートの仕様ががない。
- ・原発の問題は誤解がある。外国と日本で情報の差がある。
- ・メディアにも問題はある。日本ではあまり放送されていないものが海外では公開されている。
- ・「がんばれ」は被災者に対して言うべきではない。
- ・建築士の有志が集い、仮住まいサポート三重というサポートグループを立ち上げ、被災者に対してバリアフリーの相談と改修提案を無償で行い、被災地から転居して来られた方に対して無償で工事のお手伝いなどを実施するそう。



この集まりは、毎月21日に(土日、祝日関係なく)19時30分から21時30分に「みらい」で開催しています。申し込み無しで、誰でも自由に参加できます。聞くだけの人も大歓迎です！ぜひ、一度お越しください。

6月21日(火)のテーマ きらめき亀山21のこれからの在り方について

19時30分～21時30分です。

どなたでも自由に気軽に参加できます。あなたの想いをお話してください。

～ 輪を広げましょう! (^o^) ～



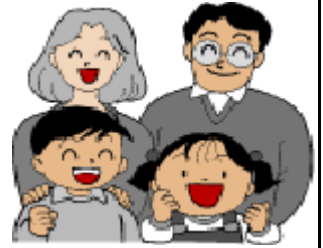
6/10

お悩み相談・進学・進路どうしよう ぽっかぽか座談会

～先生方と語りましょう～

新年度が始まり、お子さんたちの様子はいかがでしょうか？

やっと新しい環境に慣れてきたのにもう次の事？と思われるかもしれませんが、次年度進学・就労される方にとっては悩み多くなる季節でもありますよね。そこで、子ども総合センター・子ども支援室の先生方をお迎えして、子どもにとって最善の進路について一緒にお話しませんか？



と き：6月10日(金) 午前9時30分～午後0時(受付:午前9時15分～)

ところ：亀山市総合保健福祉センター大会議室

アドバイザー：子ども総合センター 志村浩二専門監

子ども支援センター 飯場寿美指導主事、横山可菜子保健師

対 象：障がいのあるお子さんの保護者 / 関心のある方

定 員：20名(先着順)

参加費：会員は無料 / 非会員500円(飲み物・駄菓子代など)

託児定員：5名(先着順 / 一人200円(当日徴収))

申込先：ぽっかぽかの会代表 浜野 FAX: 0595-83-4956

E-mail: y_hamano@kpa.biglobe.ne.jp

HP: http://pokkapokawebsite.web.fc2.com/

* 氏名、電話番号、住所、お子さんの年齢(学年)をお知らせください

(託児希望の方は、託児されるお子さんのお名前・生年月日・障がいの有無も記入してください)

6/9、23

もうやめよう！ ひとりで悩むのは

気分障害のサポートグループ 「Salon de "TRUE BEAUTY"」の自助活動日程

気分障害の当事者が集まって気持ちをさらけ出す、グループミーティングを行っています。あなたの悩みや問題をグループで語り合い、分かち合いませんか？

<グループミーティング> 6月9日(木)午後1時～2時30分 総合保健福祉センター「あいあい」

<笑いのヨガ> 6月23日(木)午後2時～3時 市民協働センター「みらい」

いずれも参加費500円

問合せ先：090-1750-6245(河西) 受付時間 午前9時～午後6時

公益社団法人 みえ犯罪被害者総合支援センターでは無料で犯罪被害者(交通死亡事故、性犯、傷害事件など)のカウンセリングもしています。

ところ：津市栄町1丁目891 三重県合同ビル2階

問合せ先：059-221-7830(月～金 午前10時～午後4時)



コラム 心の病を学ぼう・・・「悲嘆のプロセス」

生きる苦しみ、愛するものとの別れる苦しみ、誰の人生でもあることです。でも、試練のあとには大きな成長を遂げることもできます。その助けになるのが「悲嘆のプロセス」の考え方です。

わかりやすくするために死を宣告された場合を例に挙げます。

否認「そんなはずでは、無い！」受けた情報への否認が起こります。

怒り「なぜ、私だけがこんな目に!？」と周囲へ八つ当たりをする。

取引「病気が治るなら何でもします！」と必死にしがります。

抑うつ 無駄であることを知って、本人はうつ状態になります。

受容 自分の最後を受け入れる「受容」の時期を迎えます。

悲嘆の中では自分がどの段階にあるのか、客観的に見て、泣きたいときは泣き、誰かに感情を吐き出すことも楽になる方法だと言えます。

(気分障害のサポートグループ 上級カウンセラー河西恭子)





あのひと、このひと

このコーナーは、市民活動団体などで活動している方に、活動を始めたきっかけや活動の内容、今後の展開、これから活動を始め方へのアドバイスなどを率直なことで語っていただきます。

今月は、『シャドーボックス』のみなさんです。

市の中央文化講座のシャドーボックスを受講したメンバーが、もっと活動を続けたいという思いから、活動を始めることになりました。まだ活動を始めて1年目です。

シャドーボックスとは、紙に描かれた模様を絵の切り抜きをシリコンボンドで貼り重ねていき、作品を仕上げていくものです。元になる同じ絵柄を複数使用し、各パーツを細密に何層にも切り重ねることによって立体感を持たせたり、パーツに丸みを持たせたり影を作ることにより表情と奥行きを演出し、オリジナルの作品を作り出すことができます。

活動は、月1回第1木曜日の午前9時30分から市民協働センター「みらい」で行っています。現在、会員は7人で、50代から60代の人達です。

先生は、金森満寿美先生です。先生に分からない事を聞いたり、自分達が経験をした事がないことを教えて頂いています。メンバーと楽しくおしゃべりをしながら作品づくりをしています。家に持ち帰って一人で作品づくりに取りかかると夢中になることができます。また、細かく難しい作業であることから、作品が完成した時の喜びは何とも言えないものがあります。

ご興味を持たれた方は、一度、活動を見に来てください。

問合せ先：86 - 5198 (安藤)





6/26

第一回亀山ハーモニカ交歓コンサート

童謡、唱歌、歌謡曲、クラシック等を日本ハーモニカ芸術協会中部支部の指導者の演奏と約50名の会員で合奏と独奏の、コンサートを開催します。

と き : 6月26日(日) 開場 12時30分 開演 13時

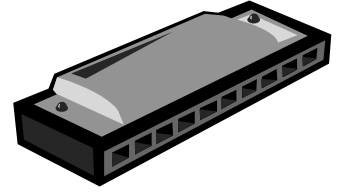
と ころ : 亀山市青少年研修センター 大ホール

入 場 料 : 無料

主 催 : 亀山ハーモニカ交歓委員会

後 援 : ハーモニカクラブ交歓委員会

問 合 先 : 83-0314 (廣田)



亀山市史 ネットで活用できます



このたび、亀山市史が新たに編纂されました。全国に先がけて従来のような冊子で無く、いつでもどこでも無料で活用できるようにネット版になりました。

通史、歴史、考古、民俗、自然の分野別に膨大な資料が閲覧でき、読みものとして楽しい工夫もされています。皆さんの自宅でも活用できますし、市民協働センター「みらい」等ネットが使える施設ではプロジェクターで映しながら何人かが講演を受けたり学習会もできます。

IT化の特徴である検索機能が活かれますので、瞬時に調べたい内容に到達できます。

画像も豊富に収録されており、各地区の祭事や、「かんこ踊り」「亥の子」なども動画で見ることができます。

GoogleやYahoo等の検索サイトから「亀山市史」でヒットします。

～サムライのごとく～ ケニヤで22年 市橋隆雄ファミリー

1949年(昭和24年)生まれで亀山市南野町出身の市橋隆雄さん家族は、ケニヤで教育活動を続けて22年になります。2003年にはナイロビに幼稚園から高校までの一貫教育を行う「コイノニア・アカデミー」を設立し、貧困家庭の子どもたちに裕福層の子弟と同じレベルの高い教育を受けさせ、スラム社会の中で将来のリーダーとなれるよう人材養成をしています。

先日、彼が来日した機会に亀山に立ち寄った際、彼の中学時代の仲間と集まり話し合う場を持ちました。今、日本は大震災の中、海外の支援なんてとんでもない...という雰囲気になっています。それは当然のことです



が、彼の信念はどんな状況でも動じないようです。海外ではサムライという表現があります。「サムライ」を一言で定義はできませんが、自分の信念のためなら金、地位、名声などあらゆるものを「失うことを恐れない」行動と言えるでしょう。「できるわけ無い」と言われてもあえて挑戦し、不可能を可能にすることもあります。

いつの間にか日本の社会は経済一辺倒、目先の損得に走り変貌したようです。未曾有の天変地異が襲った今、本当に大切なモノが何か考えてみませんか。 市橋隆雄さんを支える会 伊藤

**6/8、9 亀山市民ネットの説明会開催のお知らせ**

亀山市では、市民協働センター「みらい」のホームページに市民団体の情報を掲載しています。
平成23年度も新たに登録する市民団体を募集しております。

また、既に登録をされた市民団体については、登録事項の更新を受け付けています。詳しい登録方法などの説明について下記のとおり説明会を開催いたしますので、活動のアピールや会員の増員を図りたい市民団体はぜひご参加ください。登録は無料です。

と き：6月8日(水)午後2時30分～、9日(木)午後6時30分～
ところ：市民協働センター「みらい」 大会議室
参加費：無料 参加申込は不要です

問合せ先：84-5008(亀山市 市民部 市民相談協働室)

**「協働」の講演会及び平成22年度協働事業提案実施報告会**

5月14日(土)、亀山市協働事業提案選定委員会委員長で三重大学人文学部准教授の石阪督規氏をお招きし、「協働」の講演をしていただきました。

石阪氏は「今後の亀山市は高齢化が進行するため、総力戦で市民活動に取り組む必要がある。

また、亀山市の人口規模5万人では参加者にも限りがあるため、他団体として滋賀県と連携するのもよい。関西と中部の交流を市レベルから起こしていくのも面白い。」と話しをされました。

本講演終了後は、市民団体と市職員が協力して、協働で行ってきた成果の報告を行いました。

平成22年度は以下の3事業が実施され、出席者からは多くの質疑が出るなど行政との協働に関心のある市民が大変多いとの印象を受けました。(市民相談協働室)

提案事業名	事業概要
井田川小学校こどもぼうさい育成モデル事業	井田川小学校において、「こども防災士」を育成することを通して、亀山市の子どもたちが、災害(地震・津波・台風・水害・土砂災害等)から大切な生命や家族、友達や地域などを守る為の知識を身につける。
ロマンとそろばん研究プロジェクト事業	文化事業継続のための新たな仕組みのモデル構築を行う。
郷土芸能活性化推進事業	葛葉太鼓をモデルに、亀山市の郷土芸能を活性化させ、地域で生まれ育った芸能を後世に継承していくことのできるシステム(仕組み)を構築する。

市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています

詳しくは、市民相談協働室(Tel 84-5008、Fax 82-1434、Email: shimin@city.kameyama.mie.jp)
又は、市民協働センター「みらい」(Tel 84-5800、Fax 84-5801、Email: mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp
東町一丁目8番7号)までご連絡ください。

編集作成：「きらめき亀山21」広報部(問合せ先：亀山市市民部市民相談協働室〒519-0195三重県亀山市本丸町577番地)

市民活動ニュース配置場所：毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター「みらい」・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあい交流センター・林業総合センター・鈴鹿馬子倶楽部・老人福祉センター・健康づくり関係センター・青少年研修センター・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・亀山駅・百五銀行亀山支店・市民のショップねこの館・茶気茶気・オアシス館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター(津市)

ホームページ <http://shimin-kyoudo.sakura.ne.jp/kirakame21/> 市民ネット <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/>
「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。